

岡山県内公立学校の働き方改革に係る勤務実態分析等委託業務事業者選定基準

1 目的

岡山県内公立学校の働き方改革に係る勤務実態分析等委託業務の委託事業者の選定方法及び業者選定条件を定める。

2 審査項目及び配点

審査項目及び配点は表のとおりとする。

審査は、表の審査基準ごとに5段階評価を行い、評価点は以下のとおりとする。

「仕様書の想定する基準を大幅に超えた魅力ある提案内容」＝5点、「基準を超える提案内容」＝4点、「おおむね基準と同等の提案内容」＝3点、「基準を満たすためには、一部改善を要する提案内容」＝2点、「大幅に改善を要する提案内容」＝1点

	審査項目	審査基準	換算ウェイト	配点
客観的評価	1 業務実績	国、地方公共団体、教育機関等における大規模データの整備、統計分析、政策評価又は業務改革支援に関する業務実績	× 2. 0	2 0
		過去の自治体等との勤務実態分析、働き方改革支援その他の類似業務契約実績	× 2. 0	
	2 見積金額	提案上限額以内かつ、業務内容、実施体制及び成果物に照らして妥当で無理がなく、適切な価格になっているか。	× 2. 0	1 0
業務遂行上の評価	3 実施方法・実施体制	業務の目的、条件及び内容を深く理解し、岡山県の学校における働き方改革の推進に資する取組意欲が感じられるか。	× 2. 0	7 0
		業務の実施体制及び工程が適切かつ効果的であり、データ提供時期及び成果物の提出期限を踏まえ、円滑かつ確実な業務遂行が可能と認められるか。	× 2. 0	
		複数年度・複数校種のデータ整理、PDF からのデータ化、仮名化、データ品質の確認並びにワイド形式及びロング形式の分析用データセットの構築方法が、具体的かつ実現可能な内容となっているか。	× 2. 0	
		データの件数、分布、欠損及び階層構造等を踏まえ、勤務実態、高負担要因及び負担パターンを的確に把握するための分析方法が、妥当かつ具体的な内容となっているか。	× 3. 0	

		岡山県データに基づく課題整理、改善方策、削減見込時間、KPI、効果検証方法及び令和 8 年度から令和 10 年度までの実施ロードマップが、具体的かつ実行可能な提案となっているか。また、成果物を発注者が継続的に利用、更新及び再現できる内容となっているか。	× 3. 0	
		個人情報及び機密情報の流出防止、仮名化、アクセス管理、再委託管理、データ消去並びに生成 AI の利用制限等について、実効性のあるセキュリティ対策が講じられているか。	× 2. 0	
合 計			1 0 0	

3 業者選定条件

- (1) 仕様書に示す項目を全て満たしていること。
- (2) 上記による評価において、各委員の合計点数の和である総合計点数が 3 0 0 点以上であること。
- (3) 複数の審査員が、1 審査基準以上について、「大幅に改善を要する提案内容」を評価する業者は選定しないものとする。

4 順位の決定方法

上記 3 に示す条件を満たす提案者が複数いる場合は、総合計点数が高い順に順位を決定する。総合計点数が同点の場合は、委員長が順位を決定する。